

登録コード	EKA02900	開講年度	2026				
授業科目	授業研究と教育評価					担当教員	谷塚 光典 他
英文授業名	Lesson Study and Educational Assessment					副担当	関 浩司・山口 学・市川 この美・若林 史也
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	履修学年	1年生
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 E Aカリ, 2 5 E Aカリ, 2 4 E Aカリ						
	教育の専門職としての学識・技能				⇔	授業研究と教育評価に関する教育の専門職としての学識・技能を獲得する。	
	2 6 E Aカリ, 2 5 E Aカリ						
	子どもの多様なニーズへの対応力				⇔	授業研究と教育評価に関する子どもの多様なニーズへの対応力を獲得する。	
(2)授業の概要	(1) 授業のねらい 幼児児童生徒が主体的に参加する授業・保育, 共に学び合える授業・保育など魅力ある授業・保育づくりのための授業観・保育観の追究と具体的な学習指導計画・保育計画づくりを, 発達段階・教科・領域の枠を越えて, 学ぶ側の論理で吟味・検討する。また, 授業・保育技術や学習形態・指導体制を柔軟に工夫し, 一人ひとりの子どもに確かな学力を保証する実践的指導力を身につけるとともに, 学力の妥当な測定方法など教育評価についての専門的知識を身につける。 (2) 授業の進め方 本授業は, 授業参観・保育参観と小グループでの授業・保育検討会により展開する。 授業参観においては, 附属学校園等の公開研究会を参観する。 小グループの授業・保育検討会においては, ①授業・保育設計, ②授業・保育技術, ③教育評価, ④授業・保育観の再構成, の4点について検討する。 担当教員が小学校・中学校での実務経験を活かして講義を行います。						
(3)授業計画	第1回: ガイダンスー本授業の進め方ーと、授業研究と教育評価の基礎 第2回: 授業参観(1) 中学校・高等学校における授業設計と授業技術 第3回: 授業参観(2) 中学校・高等学校における教育評価 第4回: 授業参観(1・2)の検討(1) 中等教育段階の授業設計を中心に 第5回: 授業参観(1・2)の検討(2) 中等教育段階の授業技術を中心に 第6回: 授業参観(1・2)の検討(3) 中等教育段階の教育評価を中心に 第7回: 授業参観(1・2)の検討(4) 中等教育段階の授業観の再構成を中心に 第8回: 授業参観(3) 幼稚園・小学校における授業・保育設計と授業・保育技術 第9回: 授業参観(4) 幼稚園・小学校における教育評価 第10回: 授業参観(3・4)の検討(1) 初等教育段階の授業・保育設計を中心に 第11回: 授業参観(3・4)の検討(2) 初等教育段階の授業・保育技術を中心に 第12回: 授業参観(3・4)の検討(3) 初等教育段階の教育評価を中心に 第13回: 授業参観(3・4)の検討(4) 初等教育段階の授業・保育観の再構成を中心に 第14回: まとめ 期末試験の有無 無(最終レポートの提出をもって充てる)						
(4)成績評価の方法	・フィールドポートフォリオの作成状況:100% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(5)履修上の注意	・参観授業の検討は, 小グループを編成し, グループごとに展開する。開催時間および開催場所はグループにより適宜決定する。 ・授業参観先および日程については, 初回授業で調整・検討する。						
(6)質問,相談への対応および連絡先	谷塚研究室(北校舎2階N211) E-mail:yatsuka@shinshu-u.ac.jp 実務家教員研究室(各附属学校の教職大学院演習室)						
(7)成績評価の基準	「卓越している」 : 授業研究と教育評価の全体像を理解し, 個々の児童生徒の学びの実態を反映させながら, 事例検討において, ①授業設計, ②授業技術, ③教育評価, ④授業観の再構成, の4点全てを関連づけて検討している。 「かなり上である」 : 授業研究と教育評価の全体像を理解し, 事例検討において①②③④のうち3つを関連づけて検討している。 「やや上にある」 : 授業研究と教育評価の全体像を理解し, 事例検討において①②③④のうち2つを関連づけて検討している。 「水準にある」 : 授業研究と教育評価の全体像を理解し, 事例検討において①②③④のいずれかについて検討している。						
(8)事前事後学習の内容について	・小グループによる参観授業の検討においては, 授業前に, 参観授業に関する文献を購読したり参観授業のビデオを視聴したりして, 毎回の検討の視点についてフィールドポートフォリオに記録し, 問題意識を明確にしてから授業に参画すること。 ・授業後には, 授業でのディスカッションの内容を基に, 新たな気づきや視点をフィールドポートフォリオに記録すること。						

(8)事前事後学習の内容について	・この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。
【教科書】	○長野県教育委員会『教育課程編成・学習指導の基本』、『授業がもっとよくなる3観点』（長野県教育委員会Webサイト「教学指導課課紹介」に掲載） https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyogaku/goannai/soshiki/kyogaku.html ○幼稚園教育要領・小学校学習指導要領・中学校学習指導要領・高等学校学習指導要領（文部科学省Webサイトに掲載） http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/ ○その他、授業の中で適宜紹介する。
【参考書】	○稲垣忠・鈴木克明編著『教育の方法と技術 Ver.2：IDとICTでつくる主体的・対話的で深い学び』北大路書房，2022年 ○稲垣忠彦・佐藤学（1996）『授業研究入門』岩波書店 ○森下孟・青木一編著『教師をめざす人のための臨床経験の理論と実践：「臨床の知」が拓く教員養成課程』北大路書房，2023年 ○その他、授業の中で適宜紹介する。